

2021 年度

授業概要

科目名	聴覚障害演習			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
聴覚の発達とその障害の多様性について習得する。								
〔授業全体の内容の概要〕								
言語聴覚障害の種類の1つとしての聴覚障害について学ぶ。								
〔講師の実務経験〕								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕								
聴覚障害の基礎とその障害への対応について理解する。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	聴覚経路とその障害 (1)							
3	聴覚経路とその障害 (2)							
4	伝音難聴と感音難聴 (1)							
5	伝音難聴と感音難聴 (2)							
6	伝音難聴と感音難聴 (3)							
7	聴覚の発達 (1)							
8	聴覚の発達 (2)							
9	聴覚障害とコミュニケーション・モダリティ (1)							
10	聴覚障害とコミュニケーション・モダリティ (2)							
11	補聴器と人工内耳 (1)							
12	補聴器と人工内耳 (2)							
13	聴覚障害へのアプローチ (1)							
14	聴覚障害へのアプローチ (2)							
15	まとめ							
【 準備学習・時間外学習 】								
【 使用テキスト 】								
書籍名			著者名			出版社		
なし・配布プリント								
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】								
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。								